

学校教師による生徒への性的行為・性暴力被害アンケート (2020年7月9日～7月31日実施) 集計結果

作成・集計：石田郁子、札幌市中学教諭性暴力被害者を支える会

実施期間 2020年7月9日～7月31日

募集方法：Facebook、ツイッターなどSNSによる呼びかけ

回答方法：Googleフォームによるインターネット上での回答、
5月実施アンケート回答者への呼びかけ

アンケートの目的：以下4点の調査

- [1] 教師がどのように生徒に対して性的行為・性暴力をするのか
- [2] 教師がどのように加害を継続させるのか
- [3] 周囲からの介入または周囲へのSOSの状況
- [4] 被害者の被害認識と開示にどのくらいの時間がかかるのか

回答対象：

学校教師による性被害にあったことがある、またはあいそうになった人。

小学校、中学校、高校・高等専門学校、専門学校・短大・大学・大学院の教師による被害。

回答総数 159

有効回答 149

各学校教師からの被害回答数：

- ・小学校教師からの被害 64
- ・中学校教師からの被害 45
- ・高校・高等専門学校教師からの被害 28
- ・専門学校・大学・大学院教師からの被害 12（短大教師からの被害は回答なし）

*集計方法：Googleドキュメント及びGoogleスプレッドシートで作成。

*回答の合計が100%にならない回答群が計算の都合上一部あり。

*アンケートの題名に「性的行為」とあるのは、性暴力の被害認識が難しいことから、アンケートに回答しやすくするために、便宜上使用しています。教師と児童生徒との性的行為を容認するわけではありません。